

## 「平成28年度バーチャルパワープラント構築事業」への採択について

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義、以下「SB エナジー（エスビー エナジー）」）は、2016年7月25日、経済産業省の「バーチャルパワープラント構築実証事業」の「バーチャルパワープラント構築事業（以下「本事業」）」に間接補助事業者として採択されたことをお知らせします。

本事業は、高度なエネルギーマネジメント技術による自然エネルギーの発電設備と電気自動車（EV）を含む電力需要家側の蓄電設備を統合的に制御することで、仮想の発電所のように電力の創出と調整を行うことを目的としており、SB エナジーは経済産業省の「バーチャルパワープラント構築実証事業」の補助事業者である一般財団法人エネルギー総合工学研究所（所在地：東京都港区、理事長：白土 良一）により間接補助事業者として採択されました。

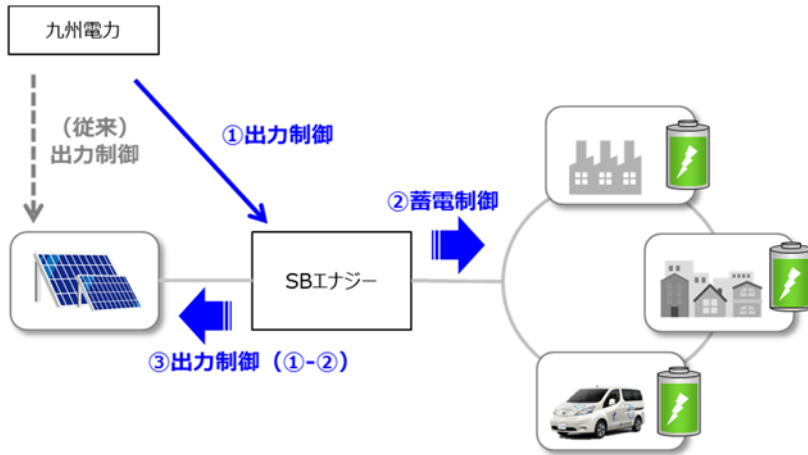
本事業は、2016年より需給バランスの調整のために再生可能エネルギー発電事業者へ出力制御指令が発令されている長崎県壱岐島で、壱岐開発株式会社（本社：長崎県壱岐市、代表取締役社長：中原 恵美子）が運営する「壱岐ソーラーパーク（出力規模：1,960kW）」へ課せられる出力抑制分の電力を対象に実施し、SB エナジーは出力制御指令によって抑制される予定の電力を、壱岐島内に点在する蓄電設備を利用して遠隔制御で新たな電力供給先を創出するアグリゲーションを行います。電力供給先となる蓄電設備は、既設の定置型蓄電設備のほか、日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市、取締役社長：カルロス・ゴーン）が「電気自動車（e-NV200）活用事例創発事業」で壱岐市役所へ3年間の無償貸与を行っている電気自動車（EV）、壱岐島内の一般家庭に設置する蓄電設備などを用います。SB エナジーは蓄電設備の容量情報を基に、出力制御指令の前日には必要な蓄電量を確保するための遠隔制御指令を行います。また、出力制御実施当日は発電事業者向けに新たに確保した電力需要量に応じた出力制御指令をリアルタイムで発令して需要側コントロールによる需給バランス調整を行うことで、太陽光発電事業者の発電機会損失を回避し、太陽光発電設備の活用最大化と一連の事業のビジネスモデルを検証します。

SB エナジーは自然エネルギー発電所の建設運営に加え、蓄電池を活用した電力需給調整など新たな事業への取り組みを通じ、さらなる自然エネルギーの普及・拡大と持続可能な低炭素社会の実現に貢献していきます。

## ■バーチャルパワープラント構築事業の概要

### 1. 内容

太陽光発電所への出力制御指令を想定し、需要家側が他の目的で導入した蓄電池などの設備により創出される電力需要の有無を検証します。出力制御指令は実施前日に発令されるため、前日の予測対応および当日のリアルタイム対応の確実性を検証し、本ビジネスモデルの確立を目指します。



### 2. 実証事業期間

2016年7月25日から2017年2月28日まで

### 3. 実施体制

役割	事業者	内容
アグリゲーター	SB エナジー株式会社	送配電事業者からの出力制御要請を受け、需要家の蓄電設備活用状況から新たな需要の創出量を算出し、蓄電設備の提供者への遠隔制御指令、発電事業者への出力制御指令を出します。
送配電事業者 (出力制御要請者)	九州電力株式会社	送配電事業者として出力制御を要請し、アグリゲーターへの出力制御指令を発令します。
需要家 (蓄電設備提供者)	壱岐島内需要家	定置型蓄電池や電気自動車 (EV) の所有者・使用者として、アグリゲーターへ蓄電設備の空き容量とその情報を提供します。
発電事業者	壱岐開発株式会社	壱岐島内の太陽光発電事業者として、アグリゲーターからの新たな需要値に則した出力制御指令を受けます。
協力会社	オムロン株式会社	小規模 PCS メーカー
	東芝三菱電機産業システム株式会社	大規模 PCS メーカー
	日産自動車株式会社	自動車メーカーとして電気自動車 (EV) を貸与

### 4. 実施地域

長崎県壱岐市 (壱岐島)

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。